

木材加工をベースに機械加工の可能性を拡大し

新しい日本のモノづくりを提案する

Machining JP
CORE

新産業メディア

マシニングコア

x3年7月号

今、高齢者住宅が凄い



高齢者住宅フェア (東京ビッグサイト)

生活環境の向上に 木構造の高パフォーマンスを

セミナーは定員オーバー続出

7月23日・24日、東京ビッグサイト・西4ホールで開催の高齢者住宅フェアは高齢者向け居住インフラの拡充を促進する技術・サービスの企画・開発を手がける企業・団体が多数出展。合計60本に及ぶ無料セミナーも半数以上が定員オーバーの盛況で、来場者は2日間で1万6,786人。次回は倍の規模での開催を計画している。(主催・㈱高齢者住宅新聞社)

この見本市は高齢者の住まいと介護・医療に関する経営者・管理者層向けの専門展示会で、高齢者住宅に携わる介護・医療・不動産事業のマネジメント層向けに2006年から毎年開催し、今回は第8回目。安全・安心・快適な高齢者の住まいづくりに関する情報交換、商談の場を提供している。出展者は介護・医療、設備・資材、システム、運営サポート、不動産・建設・コンサルタント、食事サービスなどを企画・開発する企業・組織で、医療・介護関連の企業・組織・活動の管理者層が多数来場。

高齢者の居住の安定確保に関する法律(2011年10月20日施行)は高

齢者向け住宅の在り方を大きく変えた。10年間で60万戸の確保が目標になったサ高住(サービス付き高齢者向け住宅)や有料老人ホームをはじめとして、高齢者向け居住インフラの整備は急速に進んでいる。また、主力市場も団塊の世代(1947～1949年生まれ)に変わりつつあり、個の時代に即した開発・設計が必要になっている。

会場にはハウスメーカーや、パナソニック(株)、大建工業(株)をはじめ医療・介護、食事サービス、不動産・建設・コンサルタント、設備・資材、管理システム、運営サポートなど多岐にわたる関連分野から150社が195小間を出展し、高齢者住宅の計画・運営に関する最新情報を提供。

技術・サービスなどソフト中心、福祉分野のイベントということもあって、ブースのディスプレイをはじめ出展者のプロモーションは地味だったが、展示施設内にAからFまで6ヵ所設置した特設会場では2本のパネルディスカッションを含む60本のセミナーを(全て聴講無料)

会期を通して間断なく開催し、半数以上は定員の1.25倍から1.5倍に達する来場者が受講した。

パネルディスカッションのテーマは「どうなるこれからの有料老人ホーム～認知症ケア・入居一時金制度・看取り」「新規参入企業が語る、介護マーケットの有望性と課題」、また、セミナーは「地域包括ケアの新展開～2025年をめざした諸改革の展望」「成功する高齢者住宅の開発手法～建設コスト上昇、競合物件を踏まえて」など行政・団体から法律、医療、介護・医療関連企業、建築・不動産まで多岐にわたり、政策・制度と連携して市場開発に必要な広範囲にわたるノウハウ構築、産業・市場の展望に格好な情報収集の場を提供した。

会場には大規模木造建築サービスセンター、カナダ林産業審議会も出展し、中大規模・非住宅分野での木造建築の拡大・普及をPRした。

次回(第9回)は2014年7月29日(火)・30日(水)の2日間、東京ビッグサイト西3・4ホールで開催する。

自民党政権復活で 木造住宅振興へ？

木造住宅等振興議員連盟動き出す 関係地域の議員29名で

高齢化や後継者不足、少子高齢化による地域住宅市場の縮小で、消費税増税後の経営が懸念される中小建設業界。このほどそうした中小建築工事業者の社会的な地位向上や木造住宅の振興や森林資源活用に関する施策を推進しようと、自民党の国会議員で構成する「木造住宅等振興議員連盟」(略称・木議連)が設立され、6月19日に東京都内で設立総会を開催した。会長に元国土交通大臣の金子一義衆院議員(岐阜4区)、会長代理に櫻田義孝衆院議員(千葉8区)が就任した。アベノミクス効果で、輸出産業を中心に経済界が回復の傾向にあるが、住宅産業の一翼を担う地域の中小工務店、木材業界はなかなか復活の道筋が見えないことから、新たな振興を図ろうというものである。

木造住宅等振興議員連盟は、先の自民党政権時代の1979年から30年ほど活動を続けていたもので、住宅政策等の展開に取り組んできたもの。今回安倍政権となったことで、休眠していた組織を改めて、木造住宅等振興議員連盟を再稼働させることになったもの。

木造住宅等振興議員連盟は、国民の住生活に対する安心・安全の確保、環境問題解決に向けた木材(国産材)の積極的活用及び省エネ対策、経済活性化を含む中古市場の抜本改革等

を着実に実践する上において、①中小建築工事業者の社会的地位向上、②経営基盤の確保及び支援、③技能者に対する教育及び後継者育成、④工法、設備、資材流通等の総合的研究・開発等、総体的な業界の近代化を積極的に推進すべく、国政最高レベルで総合的、有機的に検討、国民の木造住宅に対する需要と希望に応え、住生活の安全安心の確保に寄与することを目的としている。

総会では開会に先だって会長の金子一義氏が挨拶。民主党政権交代の影響で一時休止していた議員連盟であるが、再び開始することで中小建設事業者のより多くの声を国会の場に反映させていきたいとした。

なお、以前の名称は「等」を抜いた木造住宅振興議員連盟であったが、新しく地域材の利用と林野庁との関係等も視野に入れて名称を変更した。この議員連盟は、1979年に全国中小建築工事業団体連合会と協力して発足。具体的な働きかけとしては国土交通省の住宅局内に木造住宅振興室を設置するもととなった提言を行うなど住宅行政にも大きな影響力を持っている。

設立総会には連盟議員のほ

か、国土交通省から大臣官房・毛利信二審議官、住宅局住宅生産課長、木造住宅振興室長、林野庁から木材産業課長、木材利用課長、木材製品技術室長らの省庁関係者が出席。

中小工務店等(左官屋等も含む)の業界を代表して、(一社)全国中小建築工事業団体連合会(全建連)…………

木議連の加盟議員

役 職	議員氏名	衆参	選挙区
会 長	金 子 一 義	衆議院	岐阜 04
会長代理	櫻 田 義 孝	衆議院	千葉 08
幹 事	中 村 裕 之	衆議院	北海道 04
	金 田 勝 年	衆議院	秋田 02
	馳 浩	衆議院	石川 01
	吉 野 正 芳	衆議院	比一中国
	福 井 照 元	衆議院	高知 01
	船 田 元	衆議院	栃木 01
	谷 垣 禎 一	衆議院	京都 05
	武 部 新	衆議院	北海道 12
	大 塚 高 司	衆議院	比一近畿
	うえの 賢一郎	衆議院	滋賀 02
	谷 公 一	衆議院	兵庫 05
	菅 家 一 郎	衆議院	福島 04
	御法川 信 英	衆議院	秋田 03
	原 田 憲 治	衆議院	比一近畿
	金 子 恵 美	衆議院	新潟 04
	松 本 文 明	衆議院	比一東京
	富 樫 博 之	衆議院	秋田 01
	大 塚 拓	衆議院	埼玉 09
	中 山 泰 秀	衆議院	比一近畿
	小 島 敏 文	衆議院	比一中国
	塩 崎 恭 久	衆議院	愛媛 01
	石 破 茂	衆議院	鳥取 01
	渡 辺 猛 之	参議院	岐阜 (22)
	野 上 浩太郎	参議院	富山 (22)
	岡 田 直 樹	参議院	石川 (22)
	宮 沢 洋 一	参議院	広島 (22)
	佐 藤 借 秋	参議院	比例 (19)